

様式 4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	—	—
		スタッフのシフトは適正であるか	—	—
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	—	—
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	—	—
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	—	—
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	—	—
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	B	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	B	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A
その他				
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 13 項目)		A	
指定管理者の自己評価	協定書・仕様書に基づき施設管理を行った。なお、業務日誌については、適時記載のみで毎日ではなく「スポーツ広場管理票」として記録している。			
施設所管課の評価	協定書・仕様書に基づき適切な施設の維持・管理ができていた。			

1

Ⅱ 評価	指定管理者の 自己評価	利用しやすい施設を目指して質の向上を心掛けた。
	施設所管課の評価	利用者からの意見や要望等について、迅速にかつ適切に対応することができていた。

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅲ 収 支 等 に 関 する 評 価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	—	—
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他			
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価（標準 6 項目・本施設 5 項目）	A	
	指定管理者の 自己評価	適正・適切に行った。		
	施設所管課の評価	適正に予算執行・管理ができていた。		

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己 評価	所管課 評価
Ⅳ 目 標 管 理 に 関 する 評 価	目標①	施設利用者に対し、公平に保つ。		A	A
	目標②	施設利用者に対し、安全安心して利用できる施設とする。		A	A
	目標③	施設の保守・管理・点検および緑地管理を徹底する。		A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価（標準 3 項目・本施設 3 項目）	A		
	指定管理者の 自己評価	協定書に沿った内容である。			
	施設所管課の評価	誰もが利用しやすい環境づくりができていた。 引き続き、施設利用者が安全・安心して利用できるような管理に努めていただきたい。			

V	【総合評価】	I ～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	----------------	---

Ⅵ 特 記 事 項	特に評価される 点	
	改善が望まれる 点	